設立30周年記念誌

安　曇　野

公益社団法人 安曇野シルバー人材センター

設立 30 周年記念誌

安　曇　野

目　次

理事長あいさつ…… 2

設立 30 周年を祝して …… 3

30 年のあゆみ …… 5

記念日コーナー…… 9

シルバー人材センターの活動紹介……11

地域の概要……14

設立 30 周年記念事業紹介 ……17

事業実績……19

理事・監事等の推移……21

設立 30 周年記念事業

　　実行委員会組織図……22

あとがき……22

設立 30 周年を迎えて

公益社団法人 安曇野シルバー人材センター

理事長　田野尻　正

未来を展望し、発展を続ける安曇野シルバー人材センター

新型コロナウイルスの感染拡大は、いまだ収束の兆しを見せず、ロシアによるウクライナ侵攻は、世界秩序や人々の生活、価値観に変化を及ぼすなど厳しい社会経済環境を生じさせています。

このような環境の中で迎えた令和４年度は、安曇野シルバー人材センターにとって、設立 30 周年という極めて重要な節目の年となりました。

安曇野シルバー人材センターは平成４年４月に設立、令和４年３月末で 30 年という長い歴史を刻んでまいりました。（本誌写真でつづる 30 年のあゆみ参照）

発足当時の会員数は 300 余名でありましたが、今日では概ね 900 名に、契約金額も 5,000 万円から５億 6,000 万円と大幅に拡大し発展してまいりました。

これも偏に、センター発足以来日々地道な活動を継続された多くの会員の皆様、センターを活用して下さった市民の皆様、各種企業や団体等のユーザーの皆様をはじめ、着実、堅実な事業運営を担って下さった事務局役職員の皆様方のご尽力の賜と心から感謝申し上げます。

安曇野シルバー人材センターは、健康で働く意欲のある高年齢者の能力を活かして、幅広い活動を展開しており、今や地域にとってはなくてはならない団体として、地域社会づくり、地域福祉の向上に大きく寄与しています。

しかしながら、シルバー人材センターを取り巻く環境は年々厳しくなっております。

会員や就業機会の確保拡大や安全適正就業の維持など、古くて新しい課題への対応に加え、近年における雇用環境の変化に伴う会員の高齢化や一部分野における後継者不足など新たな深刻な問題も発生しております。

このような課題解決は容易ではありませんが、高齢者の皆さまが働き続けていただく場として、安全で安心できる環境の整備に重点を置き、過去の歩みを振り返り、未来を展望しながら、会員の皆様とともに工夫を凝らし、最善策を講じてまいります。

このような状況の変化に的確に対応し、地域に信頼され、親しまれ、地域貢献できるシルバ―人材センターを目指して積極的な事業展開をしてまいりますので、センターを活用して下さる皆様はじめ、会員の皆様には引き続きご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

設立 30 周年を祝して

安曇野市長

太　田　　寛

公益社団法人安曇野シルバー人材センターの設立30周年を心からお祝い申し上げます。

貴センターは平成４年５月に設立されて以来、地域の高齢者の皆様に就業の機会を提供することにより、会員の皆様が、地域の一員として、生きがいや健康増進につなげながら地域を支える担い手としてご活躍されるよう取り組まれてこられました。このたび、設立30周年という輝かしい節目を迎えられましたのも、田野尻理事長をはじめ歴代の役員の方々、会員の皆様のご尽力の賜物であると深く敬意を表します。

さて、少子高齢化の進行により、安曇野市においても高齢化率は増加の一途をたどっており、働く意欲のある高齢者に活躍の場を提供するシルバー人材センターが果たされる役割は非常に大きくなっております。高齢者の皆様が、住み慣れた地域で安心して豊かに暮らしていくために、また、働き手の確保という観点からも、貴センターの事業運営と会員の皆様の豊富な経験・知識・技能を活かした地域社会への貢献に期待が寄せられるところでございます。設立30周年を契機として、会員の皆様が健康でアクティブに活躍していただける活力ある地域社会づくりに更なるお力添えをお願いいたします。

安曇野市としましても、市民一人ひとりが安曇野に誇りを持ち、幸せに暮らし続けることのできる「住みたい安曇野　住んでよかった安曇野」の実現を最大の目標に、今後も高齢者の皆様の活動と活躍の場の創出に取り組んでまいります。

結びに、安曇野シルバー人材センターの今後益々のご発展と会員の皆様のご健勝とご活躍を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

松本公共職業安定所長

綿　貫　昭　二

公益社団法人安曇野シルバー人材センターが設立30周年を迎えられましたことに心からお祝いを申し上げます。

貴センターにおかれましては平成４年４月に発足されて以来、平成18年に明科シルバー人材センターを統合してから、地域の高年齢者へ活躍の場を提供し続けて今日に至り、長き30年を迎えられています。

シルバー人材センターの以前からのイメージでは、現役生活から一線を置いて、それからの就労というものでありましたが、昨今では現役から退かれたとしても、まだまだ体力も気力も決して衰えを感じることなく、生涯現役をまさに体現するような先輩方が多くなっていると感じています。少子高齢化の時代を進む我が国においては、人口の自然減に対して多くの施策を講じ、次世代に引き継ごうとしておりますが、即効性があるものではなく、一定時間を費やして醸成されていくものであります。つまりは、今の時代、減少傾向にある労働力を確保する選択肢のひとつとしての、高年齢者の皆さまであり、正にシルバー人材センターの会員の皆さまであると思われます。従来であれば、高年齢期の「生きがい」「健康維持」「健康増進」などがシルバー人材センターでの活動意義であったと思われますが、今はそれ以上に国、地域において「大事な労働力」として重要な立場にあり、その影響力は以前にも増して大きくなっています。

会員の皆さまには、「自主・自立」「共働・共助」の理念のもと、事故防止にもご留意いただきながら、益々ご活躍されますこととともに、安曇野シルバー人材センターのご発展を祈念申し上げてお祝いとさせていただきます。

設立 30 周年を祝して

安曇野市議会議長

平　林　　明

公益社団法人安曇野シルバー人材センターが設立30周年を迎えられましたことに心からお祝い申し上げます。

平成４年５月に貴センターが設立されて以来、社会経済情勢が変動する中にありながらも、「自主・自立」「共働・共助」の基本理念のもと、歴代の理事長をはじめとする役職員の皆様、会員の皆様が一丸となって高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりにご尽力をいただいておりますことに対し、深く敬意と感謝を申し上げます。

現在、わが国では、少子高齢化が急速に進んでいる状況であり、高齢者の方々の生きがいと健康づくりは、活力ある地域社会を維持するために必要なものとなっております。このような中、高齢者の方々が長年にわたり培ってきた豊かな経験・知識を発揮し、自分の住み慣れたまちで生きがいを持って、健康に生活できる環境が求められております。今後、仕事及び社会奉仕活動などで地域社会に貢献したいという健康で元気な高齢者の方々が増えていきますので、貴センターの果たす役割は、ますます重要になってまいります。

一方、新型コロナウイルス感染症が未だ収束が見えない厳しい状況の中にあって、貴センターの皆様も感染対策を講じながらの事業活動には、多くのご苦労をされていることと存じます。

市議会といたしましても、貴センターの各種事業がさらに発展・拡充できますように、また、すべての高齢者の方々が自分らしく生き生きと暮らせ、幸せと豊かさを実感できるまちの実現に向けて、より一層の努力を重ね市と連携し支援をしてまいる所存であります。

結びに、貴センターのさらなるご発展と会員の皆様のご健勝とご多幸、ご活躍を心からご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

公益社団法人 長野県シルバー人材センター連合会長

酒　井　　登

公益社団法人安曇野シルバー人材センターが設立30周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

貴センターは、平成４年に社団法人安曇野シルバー人材センターとして設立され、平成23年の公益社団法人への移行を経て、今日まで着実に実績を伸ばし、30年という輝かしい日を迎えられました。

これも歴代会員、役職員の皆様のご労苦とともに、自治体はじめ関係者の皆様のご支援の賜物と深く敬意を表する次第です。

シルバー人材センターは、高齢者の経験や技能を活かした就業を通じて、地域の支え手としての役割を担うとともに、高齢者自身の生きがいの充実や健康づくりにも寄与しており、地域にとって重要な存在となっています。

貴センターにおかれましても、水と緑豊かな地域環境のなか、地域に根差した様々な事業を展開され、地域を支える重要な機関としての役割を果たされておりますことに、深く敬意を表します。

シルバー人材センターを取り巻く環境が年々複雑多様化する中、就業への多様な価値観を持つ高齢者の受皿としての機能を十分発揮し、また、地域のニーズに適確に対応していくことが、センターには今後益々必要となってまいります。

連合会も引き続き皆様と連携を密にし、事業の発展に努めてまいります。

結びに、貴センターが今後一層地域に貢献し、信頼される存在として益々発展されますことをご祈念申し上げまして、お祝の言葉とさせていただきます。

あの頃・この頃…　そして今

H4. 4　安曇野シルバー人材センター発足
（事務所を南安自治会館に設置）
6　社団法人 安曇野シルバー人材センター設立

H4.6　設立総会

H5. 3　会報「シルバー安曇野」創刊
4　安曇野福祉ぬくもりセンターに事務所移転

H5.3「シルバー安曇野」創刊号表紙

H5.4　安曇野福祉ぬくもりセンターへ事務所移転

H 9. 5　設立５周年記念式典
H10.12　門松・松飾りづくりを開始（以降毎年実施）

H9.5 設立５周年記念式典

H10.12 門松づくり開始（JA あづみ豊科支所にて）

30年のあゆみ　～写真でつづる30年～

H12.10　北アルプス広域 SC と姉妹提携調印式
H13. 6　安全就業優良 SC として全国表彰受賞

H13.6 全国表彰を受ける山崎理事長

H14. 5　設立 10 周年記念式典
H15. 6　会員互助会設立
H16.10　明科広域 SC と統合準備会発足
H17. 4　奈川村・安曇村・梓川村会員が松本地域 SC へ加入
12　明科広域 SC との統合協議会発足

H14.5 設立１０周年記念式典

刈り払い機安全講習会

H18. 3　明科広域 SC と統合調印式
4　新 安曇野シルバー人材センター発足

H18.3 安曇野 SC・明科広域 SC 統合調印式

H21. 3　H20契約額過去最高を達成6億800万円
8　ホームページ開設
H22. 6　新公益社団法人制度移行認定関係説明会
H23. 3　公益社団法人認定（長野県知事許可）
4　公益社団法人 安曇野シルバー人材センター（設立登記）

公益法人認定・・・決意新たに安全就業への取り組み

県シ連安全指導員による安全パトロール

H24.5 設立２０周年記念祝賀会

H24.　5　設立 20周年記念式典
H25.　4　シルバー農園事業開始(初年度は独自事業)
H26.　4　シルバー農園事業を地域ニーズ対応事業(国庫補助)として実施(H27年度まで)

H25.4 シルバー農園事業開始 (玉ねぎ苗定植作業)

H27.　1　シルバー派遣実務担当者研修会(松本市)
　　5　統合 10周年記念講演会· 定時総会
　　6　豊科保健センター内に事務所を移転し、業務開始
　　6　玉ねぎ祭りで直売(以降毎年開催)

H27.6　玉ねぎ祭りに参加

H28.　1　統合10周年記念芸能大会(ふれあいホール)
　　4　派遣事業開始
　　4　シルバー農園事業を地域就業機会創出· 拡大事業(国庫補助) として実施
　　12　地域就業機会創出拡大事業打合会

H28.4 派遣事業開始

H29.　2　野沢菜栽培(JAあづみ優良賞受賞)
　　4　シルバー農園事業を独自事業として スタート
H30.　8　ホームページリニューアル
　　9　空き家管理事業開始

H29.4 農園事業を独自事業としてスタート
(野沢菜収穫作業)

30 年のあゆみ　～写真でつづる 30 年～

R　1.　7　松本地域シルバー農園へ視察
　　11　シルバー農園検討会議

R1.5　定時総会での催し（マジックショー）

R2～ R3　新型コロナ感染症対策対応状況
・地区懇談会: R2.1～ R4.1中止
・新入会員説明会: R2.2～ R2.5中止
・定時総会: R2.5、R3.5
　会員に委任状での対応を依頼して実施
・玉ねぎ直売会: R2.6、R3.6
　ドライブスルー方式
・企業訪問: R3.1、R4.1訪問せず挨拶状発送
・各地区ボランティア活動: R3.10中止

毎年 10 月に行われるボランティア作業

R3.　2　市と空家適正管理協定 締結式
　　4　センターに木製看板設置
　　6　30周年記念事業実行委員会 (第 1回)
　　(以降、年度内に 6回開催)
　　6　派遣事務移行説明会(県シ連)
　　8　安曇野市社協豊科支部へ玉ねぎ100Kg と米 60Kg寄贈
　　12　公共施設管理会員マナー研修

R3.2　安曇野市と空家適正管理協定締結式

R3.4　新木製看板除幕式

社団法人安曇野シルバー人材センター
設立許可　平成４年６月１日

長野県指令４広第１０２号
南安曇郡豊科町大字豊科4932番地46
社団法人安曇野シルバー人材センター
設立代表者　丸山宇輝司
受 92.6.2 付
平成４年５月２５日付で申請のありました社団法人安曇野シルバー人材センターの設立を許可します。

平成４年６月１日

長野県知事　吉村午良

北アルプス広域シルバー人材センターと姉妹提携協定
平成 12 年 10 月６日

姉妹提携協定書

両シルバー人材センターは相互に友好関係を促進するためここに姉妹提携を締結し今後の事業推進と相互の繁栄をもたらすため交流し合い相協力し一層努力することを誓約する
以上の合意を確認するためこの協定書に署名する

平成12年10月6日

社団法人 安曇野シルバー人材センター
理事長 山 崎 勝
社団法人 北アルプス広域シルバー人材センター
理事長 [illegible]

安全就業優良シルバー表彰受賞
平成 13 年６月 28 日

表彰状

社団法人
安曇野シルバー人材センター殿

貴シルバー人材センターは多年にわたり会員の安全就業に尽力され他の模範となる成果をあげられました
よってここに表彰します

平成十三年六月二十八日

財団法人全国シルバー人材センター事業協会
会長　関　英夫

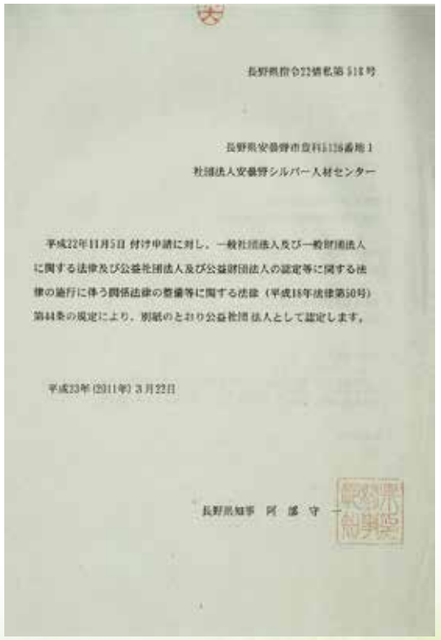
記念日コーナー

安曇野・明科広域シルバー統合協定調印　平成 18 年３月 15 日

シルバー統合協定調印書

契約立会人

公益社団法人認定　平成 23 年３月 22 日


長野県指令22情私第518号

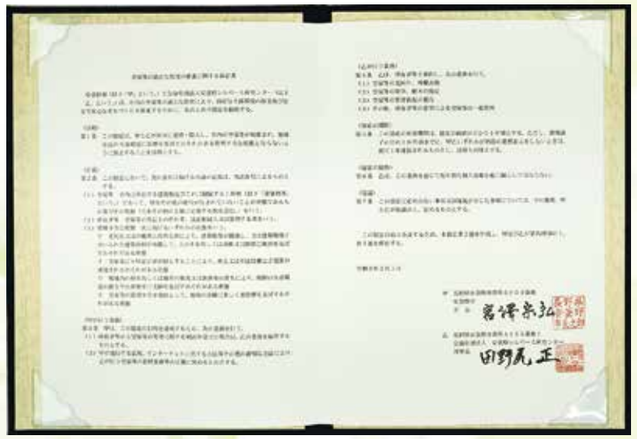
長野県安曇野市豊科5136番地１
社団法人安曇野シルバー人材センター

平成22年11月5日 付け申請に対し，一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（平成18年法律第50号）第44条の規定により，別紙のとおり公益社団法人として認定します。

平成23年（2011年）3月22日

長野県知事　阿部守一

安曇野市と空家等の適正な管理の推進に関する協定
令和３年２月５日



シルバー人材センターの活動紹介

一般作業分野

○草取り、草刈
○落葉清掃
○公園等の清掃
○農家の手伝い
○企業等での軽作業

技能・技術分野

○庭木の剪定・伐採
○筆耕（宛名，賞状）
○簡単な大工仕事
○障子・襖・網戸の張替え
○パソコン作業

管理分野

○施設や建物の管理
○駐車場誘導
○空き家の見回り

シルバー人材センターの活動紹介

シルバー派遣

○送迎車運転
○荷造り、運搬、梱包
○スーパーの品出し、調理等

独自事業

○門松・松飾り製作
○シルバー農園事業
（玉ねぎ、野沢菜、稲の栽培）
○玉ねぎ直売

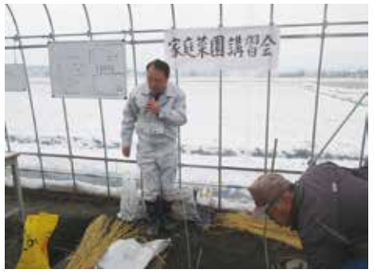
安全管理

○安全・適正就業委員会の
活動（安全パトロール等）
○安全講習会

シルバー人材センターの活動紹介

講習会

○シルバー会員及び市民を対象とした講習会を実施



家庭菜園講習会

福祉移送サービス講習

健康体操講座

庭木の手入れ講座

ボランティア活動

○地域の公共施設での剪定・清掃活動（毎年秋に 5 地域で実施）

地域の概要

全 域

市内人口	96,647
60 歳以上の人数	36,563
シルバー会員数	896

（令和4年12月1日現在）

安曇野シルバー人材センターの活躍の場は主に、安曇野市誕生翌年の平成 18 年より安曇野市内全域となっています。この地は広く、地域的に 5 ヶ所に区分でき、産業的な特色等も異なっています。会員は身近な地域で就業することが多い現状です。しかし全域的な対応としては、平成 10 年にスタートした門松づくりや平成 25 年より行っているシルバー農園事業があり、特に玉ねぎや野沢菜及び米栽培での就業人数が多くなっています。また平成 28 年度から開始した派遣事業でも年々依頼企業が多くなっています。

豊　科

豊科地域の人口	27,701
60 歳以上の人数	9,862
シルバー会員数	252

豊科地域は水田と住居地が広がり、東には光城山の山地があります。水田が多く米栽培が盛んな地域です。

会員の就業内容としては、会社や商業施設での製造や清掃作業、家庭からは庭木の剪定や草取り、草刈の依頼が多くあります。公共からは公共施設の管理や清掃、公園などの清掃や草刈、樹木の剪定などがあります。

穂　高

穂高地域の人口	33,945
60 歳以上の人数	13,270
シルバー会員数	261

穂高地域は安曇野市の北西部に位置し、北アルプスを源とする烏川・中房川の扇状地として形成され、北から流れる高瀬川にも面し水の豊富な地域となっています。稲作を中心とした農家も多く、また、豊富な湧き水を利用した、わさび、ニジマスの生産も盛んに行われています。山麓は引湯による宿泊施設も多く、観光産業も盛んです。

会員の就業内容は、農家の手伝い、事業所の各種依頼業務から、草取り・草刈・剪定など多岐にわたっています。

三　郷

三郷地域の人口	18,378
60 歳以上の人数	6,605
シルバー会員数	163

三郷地域は鍋冠山の東に位置し、裾野の傾斜地では地形を生かしたリンゴの栽培が、平地では稲作が、またキノコ栽培や野菜等のハウス栽培も行われており、産業出荷額に農業が占める割合が多くなっています。

会員の就業内容としては、事業所としては、りんご農家の果樹園作業やキノコ栽培事業所などがあります。公共からの依頼では、施設管理・清掃があり、家庭からの依頼では、草取り、草刈や剪定等があります。

堀　金

堀金地域の人口	8,835
60 歳以上の人数	3,236
シルバー会員数	124

堀金地域は安曇野市の西部に位置し、常念岳を源とする烏川扇状地によって形成されています。地域の約３分の２は山地で、標高 700㍍付近から万水川までが水田を中心とした平地となっています。山麓の扇頂部はモモ、リンゴなどの果樹栽培が盛んに行われています。

会員の就業内容は、国営公園の花木の定植、草刈、清掃等や、大規模農家の草刈が多く、家庭からの依頼は草取り、草刈、剪定等が主となっています。

明　科

明科地域の人口	7,788
60 歳以上の人数	3,590
シルバー会員数	96

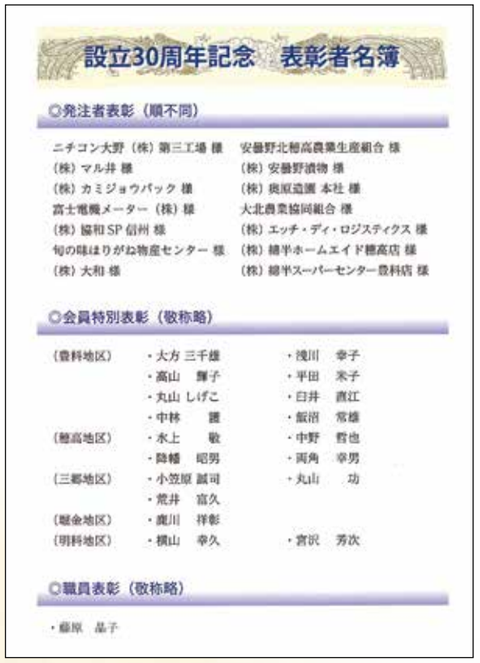
明科地域は安曇野市の北端に位置し、梓川と高瀬川がここで合流し犀川となり、地域の中央部を北流しています。川沿いは平坦部と標高 500 ～ 900 mの山間部で形成されており地域の約 6 割が森林地帯で占められています。

地域に事業所が少ないことから会員の就業内容は、福祉施設や他地域の事業所での活動が多く、公共からの依頼や家庭からの依頼は管理、清掃、草取り、草刈、剪定等が主となっています。

設立 30 周年記念事業紹介

1　設立記念表彰

発注者表彰　14 社、会員特別表彰　18 名、職員表彰　1 名に「設立 30 周年記念式典」において表彰状及び記念品をお渡しする予定でしたが、新型コロナウイルスの感染が収まらず式典は中止となったため、表彰された方の企業・お宅に訪問し、お渡ししました。また全会員には記念式典の記念品を配布しました。



設立30周年記念　表彰者名簿

◎発注者表彰（順不同）

ニチコン大野（株）第三工場 様
（株）マル井 様
（株）カミジョウパック 様
富士電機メーター（株）様
（株）協和 SP 信州 様
旬の味ほりがね物産センター 様
（株）大和 様
安曇野北穂高農業生産組合 様
（株）安曇野漬物 様
（株）奥原造園 本社 様
大北農業協同組合 様
（株）エッチ・ディ・ロジスティクス 様
（株）綿半ホームエイド穂高店 様
（株）綿半スーパーセンター豊科店 様

◎会員特別表彰（敬称略）

（豊科地区）・大方 三千雄　・浅川 幸子
・高山 輝子　・平田 米子
・丸山 しげこ　・臼井 直江
・中林 護　・飯沼 常雄
（穂高地区）・水上 敬　・中野 哲也
・降幡 昭男　・両角 幸男
（三郷地区）・小笠原 誠司　・丸山 功
・荒井 富久
（堀金地区）・鹿川 祥彰
（明科地区）・横山 幸久　・宮沢 芳次

◎職員表彰（敬称略）

・藤原 晶子

2　記念植樹事業（安曇野市に寄贈）

6 月 29 日（水）太田寛安曇野市長にご参加いただき、理事長と共に豊科保健センター前のロータリー内にシルバー色に輝く常緑樹「ホプシー」を植樹しました。

設立 30 周年記念事業紹介

3　記念講演会

7 月 23 日（土）豊科公民館において、諏訪中央病院名誉院長の鎌田實先生による「70 歳、人生はもっと楽しくなる」と題した講演会を開催しました。参加された安曇野市民約 260 名は、健康についてのお話や先生の生き方、若々しい姿に元気を頂けたものと思います。

4　サンクスイベント　記念奉仕活動

10 月に会員が各地の公共施設の剪定・清掃作業等を行いました。

公共施設数　１０ヶ所　　参加会員数 １６６名

5　記念マレットゴルフ大会

（互助会との共催）

令和 5 年度開催（新型コロナ感染拡大のため延期）

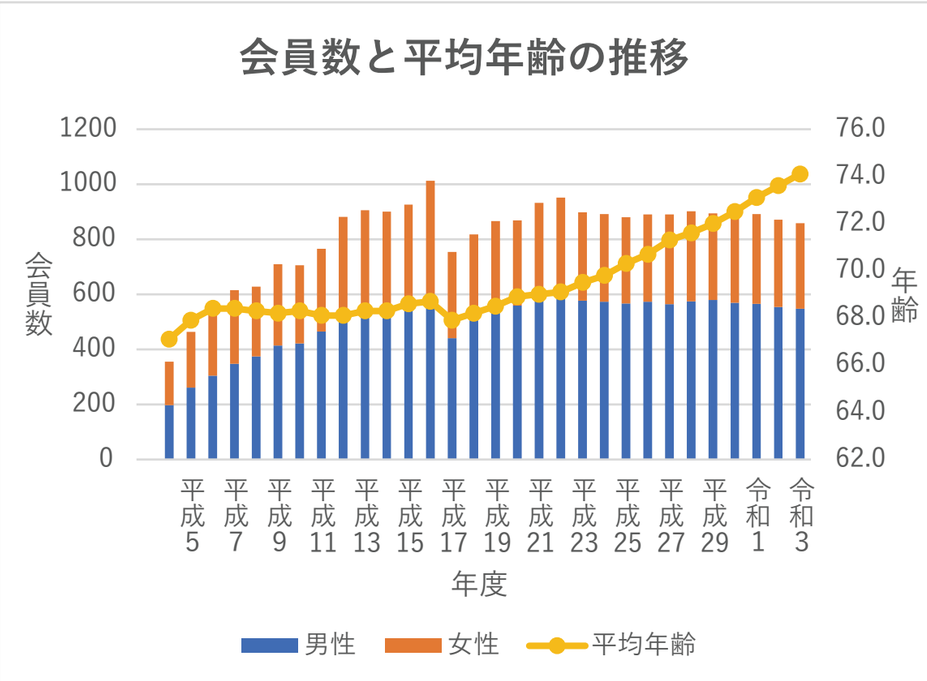
前回　記念マレットゴルフ大会

6　記念誌発行

事業実績（会員数）

会　員　数　（人）				
年　度	男性	女性	計	平均年齢
平成　4	197	159	356	67.1
平成　5	261	203	464	67.9
平成　6	305	230	535	68.4
平成　7	348	267	615	68.4
平成　8	374	254	628	68.3
平成　9	414	295	709	68.2
平成１０	422	284	706	68.3
平成１１	465	300	765	68.1
平成１２	537	344	881	68.1
平成１３	546	360	906	68.3
平成１４	540	361	901	68.3
平成１５	569	357	926	68.6
平成１６	601	412	1013	68.7
平成１７	441	313	754	67.9
平成１８	506	312	818	68.2

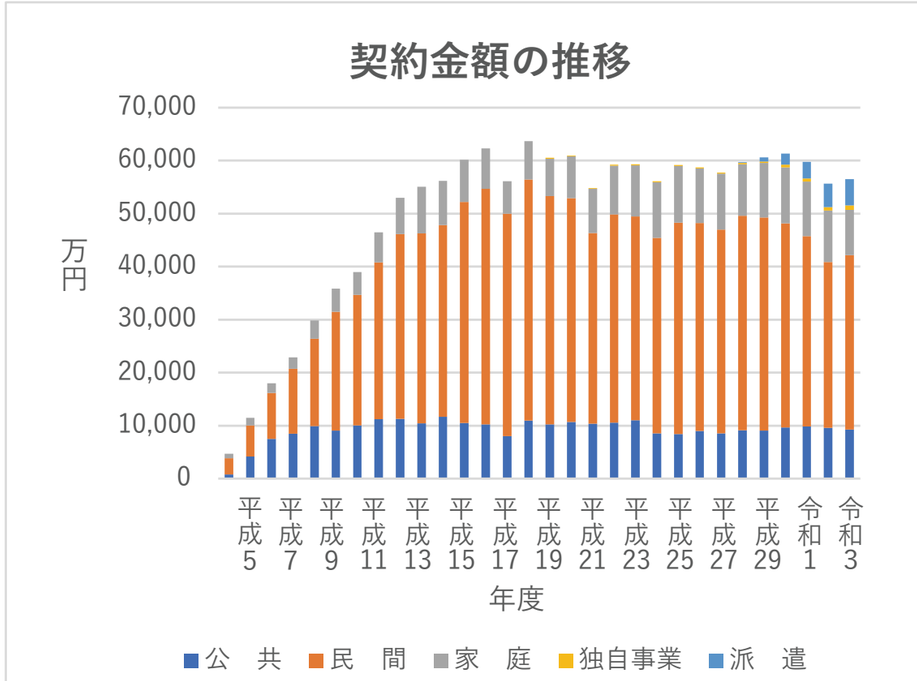
会　員　数　（人）				
年　度	男性	女性	計	平均年齢
平成１９	541	325	866	68.5
平成２０	559	310	869	68.9
平成２１	604	328	932	69.0
平成２２	616	336	952	69.1
平成２３	577	321	898	69.5
平成２４	573	318	891	69.8
平成２５	567	313	880	70.3
平成２６	573	317	890	70.7
平成２７	564	326	890	71.3
平成２８	574	328	902	71.6
平成２９	579	315	894	72.0
平成３０	569	324	893	72.5
令和　1	565	326	891	73.1
令和　2	554	317	871	73.6
令和　3	548	310	858	74.1



事業実績（契約金額）

契　約　金　額　（万円）						
年度	公　共	民　間	家　庭	独自事業	派遣	総　計
平成　4	797	3,050	825	―	―	4,672
平成　5	4,157	5,914	1,429	―	―	11,500
平成　6	7,500	8,644	1,838	―	―	17,982
平成　7	8,493	12,224	2,171	―	―	22,888
平成　8	9,916	16,509	3,415	―	―	29,840
平成　9	9,078	22,422	4,374	―	―	35,874
平成１０	10,035	24,632	4,310	―	―	38,977
平成１１	11,199	29,593	5,650	―	―	46,442
平成１２	11,276	34,840	6,888	―	―	53,004
平成１３	10,413	35,892	8,792	―	―	55,097
平成１４	11,675	36,198	8,318	―	―	56,191
平成１５	10,509	41,719	7,924	―	―	60,152
平成１６	10,223	44,491	7,596	―	―	62,310
平成１７	7,997	42,011	6,109	―	―	56,117
平成１８	10,958	45,503	7,198	―	―	63,659

契　約　金　額　（万円）						
年度	公　共	民　間	家　庭	独自事業	派遣	総　計
平成１９	10,229	43,075	7,077	161	―	60,542
平成２０	10,699	42,256	7,825	158	―	60,938
平成２１	10,394	35,959	8,311	134	―	54,798
平成２２	10,589	39,248	9,242	148	―	59,227
平成２３	10,996	38,498	9,636	168	―	59,298
平成２４	8,519	36,882	10,545	204	―	56,150
平成２５	8,386	39,886	10,705	208	―	59,185
平成２６	9,027	39,204	10,294	211	―	58,736
平成２７	8,522	38,456	10,547	225	―	57,750
平成２８	9,136	40,460	9,711	239	146	59,692
平成２９	9,089	40,199	10,284	238	820	60,630
平成３０	9,637	38,531	10,573	536	2,030	61,307
令和　1	9,874	35,884	10,302	581	3,119	59,760
令和　2	9,569	31,299	9,707	642	4,475	55,692
令和　3	9,257	32,939	8,536	813	4,949	56,494



理事・監事等の推移

	平成18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度
理事長	前島 進				横山 幸久					佐々木 胤明					田野尻 正	
副理事長	横山 幸久				岩谷 昇		山田 裕也		赤澤 喜夫		飯沼 常雄					
専務理事	宮澤 豊弘		小松 善嗣		赤澤 喜夫		飯沼 常雄			務台一之	有賀朝一	赤羽 孝明		大向 弘明		
理事	古幡 久子		小川 廣道		等々力素己			場々修三	奥村 勲		野本 岳洋			鳥羽 直樹		丸山知子
	大日方 泉		山田 裕也				（山田 裕也）		山田 詔一						（田野尻 正）	
	古幡 菊子								（赤澤 喜夫）		（飯沼 常雄）					
	小林 勝俊	（前島 進）			中野 哲也				小林 義明						日下部 憲	
	坂巻 篤美				寺嶋 春樹				有賀義孝	寺嶋 春樹		竹原 徳治				
	野本 矩男	岩谷 昇			（岩谷 昇）		石川 照美				那須野 卯久					
	小林 清次		丸山 孝雄				佐々木 胤明			（佐々木 胤明）					青柳 等	
	山田 俊秋				尾日向 洋				広田 万寿美				田口 一夫			
	中田 寿勝				鹿川 祥彰				浅川 泰通			北林 幹男			柴野 公男	
	（横山 幸久）									嶋﨑 紘次					矢花 勝	
			宮島 壽宏							小林 松治					山口 登	
															小林 和子	
監事	松村 榮逸				宮澤 憲令		手塚 溥修		山田 裕也				赤澤 喜夫			
	降旗 歓吾		大日方 泉						深石 武雄				織田 洋二			
顧問					前島 進					横山 幸久						
	丸山 昭廣															

※明科広域SCと統合以降分のみ掲載
※（　　）書は正副理事長と重複しています。

設立30周年記念事業実行委員会組織図（令和３年６月～令和４年12月）

実行委員長
理事長　田野尻　正（R3,4）

副実行委員長
副理事長　飯沼　常雄（R3）
有賀　朝一（R4）

監　事（オブザーバー）
赤澤 喜夫（R3,4）　織田 洋二（R3）
和田　博（R4）

実行委員役員会
・理事長、副理事長
・総務委員長
・広報記念誌委員長
・事務局長、事務局次長、総括係長、総務係長

実行委員会

理事長、副理事長、監事（オブザーバー）

総務委員会		広報・記念誌委員会		事務局	
委員会長	那須野卯久（R3）	委員会長	田口 一夫（R3）	事務局長	大向　弘明
	青柳　等（R4）		藤澤 靖雄（R4）	事務局次長	藤原　晶子
竹原 徳治（R3）	柴野 公夫（R3）	丸山 知子(R3,4)	日下部 憲(R3,4)	総括係長	曽根原正之
矢花　勝（R3）	山口　登（R3）	青柳　等（R3）	小林 和子(R3,4)	総務係長	佐々木信子
胡桃 壽明（R4）	尾日向芳雄（R4）	松田 清志（R4）		**業務担当**	竹内幾久夫
宮下 定義（R4）				蓮井　昭夫	髙嶋　俊明
				平倉　秀一	竹田　信
				中澤　章盛	北澤　博子
				編集担当	田中　正一

あとがき

令和３年度において当シルバー設立30周年を迎え、令和４年度は各種の記念事業が催されました。その最後の事業として、当委員会は設立30周年記念誌「安曇野」を発行し、会員の皆様のお手元にお届けすることができました。

この記念誌の歴史的推移を読み解くと多くの先輩たちの地域社会への貢献が伺え、シルバー発展のためにご尽力をいただいたことに頭が下がる思いです。

近年の雇用環境の変化で会員数は横ばいまたは微減でありながら、会員の平均年齢が10年間で５歳近くも高くなり、今後のシルバー人材センターの課題が浮き上がってきます。

今後も変わりゆく社会情勢を見極めながら、安曇野シルバー人材センターが発展することを願ってやみません。

おわりに、本誌編集にあたりまして、原稿の執筆をお寄せいただいた方々など、ご協力を頂きました大勢の皆さま方に厚く御礼を申し上げ、あとがきとさせていただきます。

令和４年１２月
設立３０周年記念実行委員会　広報・記念誌委員会一同

設 立 30 周 年 記 念 誌
安 曇 野

発行日　令和 4 年 12 月
発　行　公益社団法人 安曇野シルバー人材センター
〒 399-8205 安曇野市豊科 4155-1
TEL.0263-72-5800　FAX.0263-73-6484
URL https://webc.sjc.ne.jp/azumino/index
編　集　設立 30 周年記念事業実行委員会
印　刷　有限会社 安曇印刷
〒 399-8205　安曇野市豊科 4821
TEL.0263-72-2168　FAX.0263-72-7852